

子育て世代のパーソナルネットワーク  
紐帯種別による機能の使い分け

荒牧草平 (大阪大学)

ミクロレベルにみたパーソナルネットワークの機能としては、主に、行為選択を制約する**規範的制約(制約機能)**と、個人が利用できる**資源の提供**の2側面に着目して研究が進められてきた(Granovetter 1973=2006; 大谷 1995)。たとえば、ネットワーク分析の母と称されるボット(Bott 1955=2006)は、夫婦のネットワークの結合度が規範的制約のあり方に作用し、夫婦の役割分離度を規定すると主張した。野沢(1995)が着目したのも、ネットワークがもたらす規範的制約(磁場としてのネットワーク)とその地域差であった。他方、子育てネットワークに関する日本の研究が注視してきたのは、主に、乳幼児の育児を行う母親に対する資源の提供(支援機能)であった(落合 1989; 関井ほか1991; 久保 2001; 前田 2004, 2008; 松田 2008; 星 2011, 2012 など)。

これに対し荒牧(2019)は、マートン(Merton 1957=1961)の準拋棄論を援用し、egoがネットワーク構成員を参照しながら子育て態度を方向づける可能性を指摘し、独自の調査データに基づいてネットワークには「**参照機能**」も認められることを示した。また、荒牧(2022)は、ネットワークの影響に関する国内外の研究を整理し、上記に加えて、egoもネットワーク構成員も意図しないうちに影響を及ぼし合う「**浸透機能**」、および、ネットワーク構成員とのつながりが精神的安定や居場所感をもたらす「**居場所機能**」を含め、ネットワークの機能を、支援機能・制約機能・参照機能(比較機能と模範機能)・浸透機能・居場所機能、という5つの機能に整理することを提案した。

上記に加えて考慮すべきは、ネットワークの機能が「**紐帯種別**(親族・同僚・学友など出会いの社会的文脈)」によって異なる可能性である。これに関連して、ウェルマンとウォートレー(Wellman and Wortley 1990)は、紐帯種別(types of ties)によって、得られる支援が異なることを指摘している。また、矢部(2000)は、年賀状調査に基づいて、個人のネットワークが、出会いの社会的文脈やegoにとって重要なカテゴリーによって分節化されていることを指摘した。日本の子育てネットワークに関する研究でも、親族からは子どもの世話などの実利的支援が得られやすいのに対し、非親族からは情緒的支援や情動的支援が得られやすいことが報告されている(落合 1989; 関井ほか1991; 久保 2001; 星 2012 など)。このようにegoは目的に応じて分節化されたネットワークを使い分けていることから、紐帯種別によってネットワークの機能も異なる傾向を示すと想定できる。

ところで、家族社会学における子育てネットワーク研究は、上述の通り、「育児期」の「母親」が持つネットワークの「支援」機能に焦点をあててきた。しかしネットワークの影響は、ポスト育児期にも、上記の通り多様な機能を果たしていると考えられる。また、共働き家庭の増加により従来以上に父親を対象とした研究の必要性も高まっている。そこで本研究は、「ポスト育児期」の「父母」を対象とし、ネットワークの「多様な機能」が紐帯種別によってどのように異なるかを明らかにすることを目的とする。

この目的に沿って、2021年秋、南関東の一都三県に居住する小中学生の父母を対象とした質問票調査を実施した。なお、母親へは層化二段無作為抽出したサンプルへの郵送調査を実施したが、同じ方法で父親から十分な回答を得ることは困難と予想されたため、父親調査は調査会社のモニターを対象としたWEB回答とした。

母親調査データの分析からは、以下の知見が得られている。1) 親族の中では、夫が様々な機能を果たすが模範機能は相対的に弱い(夫はサポートもしてくれるし心の支えにもなるが、子育ての参考にはなりにくい)。2) 母親はすべての機能を中程度に果たしている。3) 非親族による実利的支援(子どもの世話)は全体に少ない傾向にあるが、紐帯種別によって違いが認められる。すなわち、子どもの友だちの保護者(ママ友)による支援は比較的多いが、同僚からの支援は少ない。4) 非親族が情緒的支援機能・参照機能・居場所機能を果たす割合は、紐帯種別にかかわらず非常に高い。5) 非親族の情緒的支援機能・居場所機能・参照機能には、接触頻度はあまり関連しない(年に数回程度の交流に限られる学友も、日常的に接するママ友と同程度に、これらの機能を果たす)。6) 比較機能(競争相手)や制約機能(同調の強要)を果たす紐帯は、親族より非親族で多い傾向にある。

キーワード：パーソナルネットワークの機能 ネットワークの使い分け